

**鴨川巡りと伊八**  
 伊八の生誕地である鴨川。それだけに、かなりの数の伊八作品を見ることができます。初代から五代までの作品を見て、作風の違いを見つけて下さい。

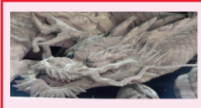
**初代伊八作祖師堂欄間「七福神」**  
 初代伊八 30代の作品。7柱の神それぞれをとても愉快に描いた吉祥画。笑い踊る姿を見ていると、幸せを分けてもらえる。  
**鏡忍寺**  
 小松原山



踊る恵比寿♪

太平洋を見渡す絶景ロード

勇ましい形相の龍。  
 曹洞宗の寺。



お堂の向拝に鎮座する龍が、東を見上げている。表情にどこことなく愛嬌を感じる。



細かな装飾が拝殿・神殿周辺に施されており、堂々と海を見つめる龍が力強い。



高台のお堂に位置する龍。海を見守っているよう。目がくりっとして愛らしい。



# 西の伊八



山門に初代と四代の作品が共存。作風の違いを見分けられるでしょうか？※大日堂の中に、酒仙の図があります。是非ご覧ください。

**伊八生家跡**  
 初代から五代までの伊八の墓が並ぶ、伊八生家跡。心をこめて御参りすると、伊八のパワーを分けてもらえるかも。

**伊八って？**  
 江戸中期、現在の鴨川市打曇（うつつみ）にうまれた彫刻大工。いすみ市・行元寺の波の欄間彫刻が有名で、「波の伊八」と呼ばれる。千葉県南部においては、寺社彫刻のパイオニアであり、初代から五代まで200年を超える「伊八彫刻」の創成者でもある。五代まで続いた伊八だが、「伊八」というと、初代伊八を意味することがほとんど。

**レンタサイクルで、幸せに会いに行く。**  
 鴨川の偉人に数えられる、伊八がのこした沢山の彫刻装飾。伊八に興味があなくても、是非見ていただきたい作品がある。吉祥画そのもの。笑顔があふれる、「幸せ」の彫刻。鴨川駅前から自転車でゆっくりと、15分走ると出会えます。

**車で行くなら、「大山不動」**  
 初代伊八の龍が長狭平野の守り神として不動堂の向拝に鎮座しています。地域の人々の寄進によってつくられたことを物語る、彫刻の裏側にうっすらと残る墨書。雨乞いの霊地でもある大山不動に思いを寄せる農民の心を感じます。鴨川市を一望できる高台にあり、眺望も良いので、ドライブコースにおすすめです。（鴨川駅より車で約30分。大山千枚田経由で散策もおすすめ）



酒に酔ってうたた寝をする大黒天の横に、酒を片手に大黒天の福耳をさわる毘沙門天。そしてその様子をそっと見つめる唐子。 弁財天の琵琶で踊る恵比寿にそれを眺める寿老人 大爆笑中の布袋と福祿寿

## 鏡忍寺祖師堂欄間「七福神」

御利益御利益 毘沙門天「勝負運、勉強、財宝、財宝！ 福徳」 大黒天「五穀豊穡、子孫愛育、養財と商売繁盛！」 寿老人「富財、子宝、諸病平癒」 恵比寿「漁業と商売」 弁財天「開運、商売繁盛」 布袋「福運と大量!!の御利益」 福祿寿「長寿と幸福」